



虎姫高校生が「先生」として、小学校4～6年の子どもたちに、科学的な内容とその原理をレクチャーする企画です。

今回のテーマは、昨年度の内容に続き、「ろうそくのかがく ろうそくの炎はなぜ赤い?」です。昨年度は、「燃える」ことに焦点をあて、「燃える」とはどういうことか、また「完全燃焼」するための何が必要なのか、実験を通して明らかにしました。今回は、ろうそくの炎の色に着目し、光と色の三原色について実験を行いました。サインペン中の色素をわけるペーパークロマトグラフィーや、ろうそくの炎を簡易分光器で観察することから始まり、化学発光による色の合成実験を行いました。また他にも、植物が光合成に必要な光とは?なぜ赤色のサインペンは赤色に見えるのか、光の補色についても話が広がりました。



生徒の感想

- 子どもたちが楽しんで説明を聞いてくれていたのが、すごくやりがいを感じました。子供たちの笑顔や驚きの顔を見ているのがすごく楽しかったです。
- 準備にかかる時間がとても長くて、大変だったけど、子供たちとコミュニケーションをとりながら進められて本当にやってよかったです。将来、このような仕事に就きたいと思えるいい機会となりました。
- サイエンスレクチャーはテーマは決まっているものの、そこからどういう実験をするかなどは自分たちで考えなくてはならないのですごく大変で難しいことでした。でもみんなで相談し、実験をして話す練習をし、話が一通りつながったときのスッキリした感じはとても気持ちよかったです。

